

衆議院予算委員会ニュース

平成 22.2.17 第 174 回国会第 13 号

2月17日(水) 第13回の委員会が開かれました。

- 1 平成 22 年度一般会計予算
平成 22 年度特別会計予算
平成 22 年度政府関係機関予算
- ・菅財務大臣、原口総務大臣、岡田外務大臣、川端文部科学大臣、長妻厚生労働大臣、前原国土交通大臣、北澤防衛大臣、平野国務大臣(内閣官房長官)、仙谷国務大臣(国家戦略担当)、枝野国務大臣(行政刷新担当)、馬淵国土交通副大臣及び榛葉防衛副大臣に質疑を行いました。
 - ・公聴会を開会することに協議決定しました。

(質疑者及び主な質疑内容)

赤澤亮正君(自民)

- ・2月10日の予算委員会理事会へ提出された予算配分に 関する資料が、同日の同委員会において金子委員が提出要求した民主党への内示資料そのものではないことは国会軽視ではないか。
- ・前原国土交通大臣は、近日中に公表されること又は概算要求時の資料から類推できることを理由として守秘義務違反に該当しないと主張しているが、公表される前の資料であれば秘密に該当するのではないか。
- ・国会での予算審議前に国土交通省が予算配分に関する資料を民主党都道府県連に内示した一連の問題への対処について平野内閣官房長官の見解を伺いたい。

山内康一君(みんな)

- ・国際平和協力における、民間団体や JICA などの援助実施機関と自衛隊との「すみ分け」について、岡田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・鳩山首相が提唱している海上自衛隊の「友愛ポート」構想とはどのようなものか。
- ・「事業仕分け」について、「仕分け人」に対象事業の実情を理解している人をバランスよく加えるなどの配慮が必要ではないか。また、「事業仕分け」を地方分権の推進のために活用することについて、原口地域主権推進担当大臣はどのように考えるか。

赤松正雄君(公明)

- ・密約の定義は何か。また密約の調査の対象として4つを挙げているが、その4つを選定した根拠は何か。その他の密約は無いのか。
- ・核密約がオープンになった場合、核政策におけるあいまい戦略が取れなくなることで、日本の安全保障に大きな影響が及ぶ可能性があるが、その後の核政策について岡田外務大臣はどのように考えているか伺いたい。
- ・がん対策における緩和ケア研修の進捗状況及びがん検診率アップへの取組状況について、長妻厚生労働大臣に伺いたい。また、がん教育の推進状況について、川端文部科学大臣に伺いたい。

笠井亮君(共産)

- ・国土交通省における胆沢ダム本体工事についての談合調査の手法は正しかったのか。また、今後の教訓を得るための検証調査を行う必要があるのではないか。
- ・民主党は、これまで公共事業受注企業からの政治献金は禁止すべきと主張してきたが、今もその姿勢は変わっていないか。
- ・政治資金問題を巡る小沢民主党幹事長の政治的・道義的責任を明らかにするために、政府、国会、民主党が対応すべきことがあると思うが、菅財務大臣の見解を伺いたい。